

短期ロシアルーブル債オープン（毎月分配型）

追加型投信／海外／債券

作成対象期間：2018年10月26日～2019年4月25日

第 65 期 決算日：2018年11月26日 第 68 期 決算日：2019年2月25日

第 66 期 決算日：2018年12月25日 第 69 期 決算日：2019年3月25日

第 67 期 決算日：2019年1月25日 第 70 期 決算日：2019年4月25日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、ロシアルーブル建ての短期公社債を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざして運用を行います。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

第70期末（2019年4月25日）

基準価額 5,847円

純資産総額 1,093百万円

第65期～第70期

騰落率 + 5.9%

分配金合計(*) 180円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

(*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufg.jp/>

[ファンド検索] に
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで
閲覧およびダウンロード

MUFG 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

運用経過

第65期～第70期：2018年10月26日～2019年4月25日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



| | |
|-------|-------------|
| 第65期首 | 5,701円 |
| 第70期末 | 5,847円 |
| 既払分配金 | 180円 |
| 騰落率 | 5.9% |
| | (分配金再投資ベース) |

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ5.9%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

▶ 基準価額の主な変動要因

上昇要因

債券の利子収益を享受したことやロシアルーブルが対円で上昇したなどが基準価額の上昇要因となりました。

2018年10月26日～2019年4月25日

1万口当たりの費用明細

| 項目 | 第65期～第70期 | | 項目の概要 |
|-----------|-----------|---------|---|
| | 金額 (円) | 比率 (%) | |
| (a) 信託報酬 | 38 | 0.666 | (a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数) |
| （投信会社） | (15) | (0.269) | ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価 |
| （販売会社） | (21) | (0.376) | 交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価 |
| （受託会社） | (1) | (0.021) | ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価 |
| (b) その他費用 | 1 | 0.012 | (b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数 |
| （保管費用） | (1) | (0.010) | 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 |
| （監査費用） | (0) | (0.002) | ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用 |
| （その他） | (0) | (0.000) | 信託事務の処理等に要するその他諸費用 |
| 合計 | 39 | 0.678 | |

作成期中の平均基準価額は、5,651円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

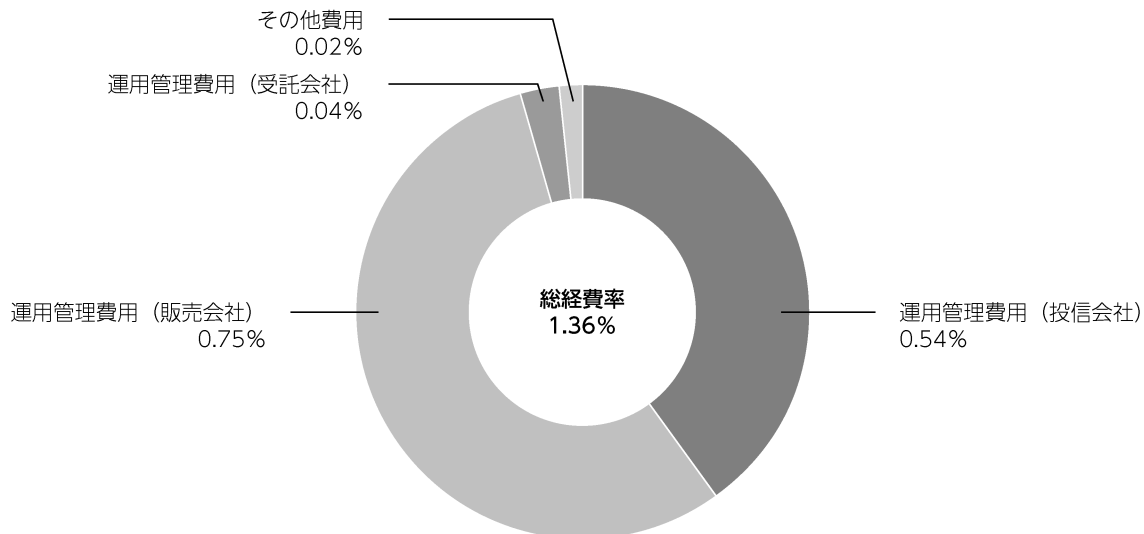
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.36%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

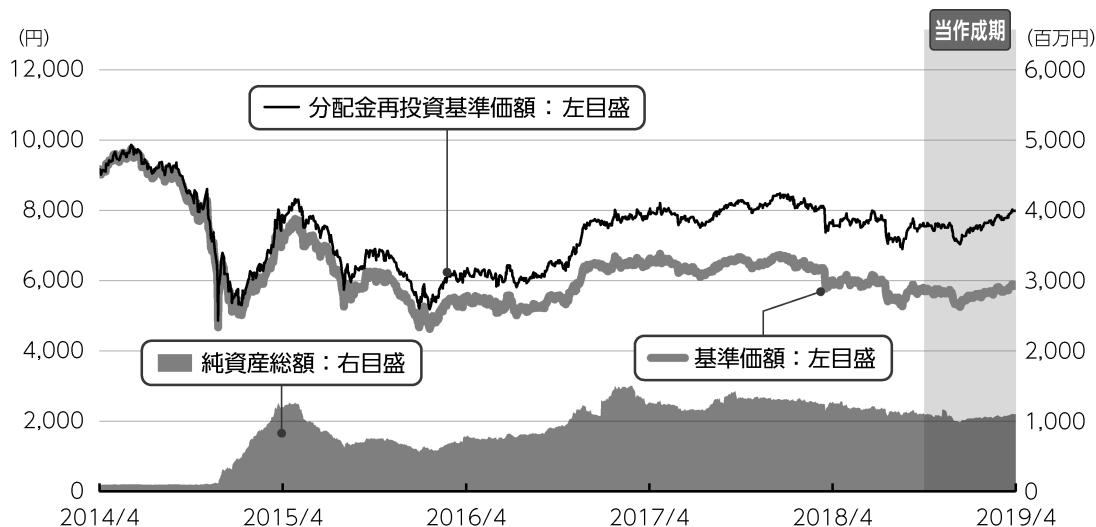
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2014年4月25日～2019年4月25日

最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額は、2014年4月25日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

最近5年間の年間騰落率

| | 2014/4/25 期初 | 2015/4/27 決算日 | 2016/4/25 決算日 | 2017/4/25 決算日 | 2018/4/25 決算日 | 2019/4/25 決算日 |
|-------------------|-----------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 基準価額 (円) | 9,178 | 7,290 | 5,505 | 6,577 | 6,016 | 5,847 |
| 期間分配金合計 (税込み) (円) | — | 540 | 360 | 360 | 360 | 360 |
| 分配金再投資基準価額騰落率 (%) | — | -14.8 | -19.7 | 27.1 | -3.3 | 3.5 |
| 純資産総額 (百万円) | 94 | 1,190 | 780 | 1,257 | 1,272 | 1,093 |

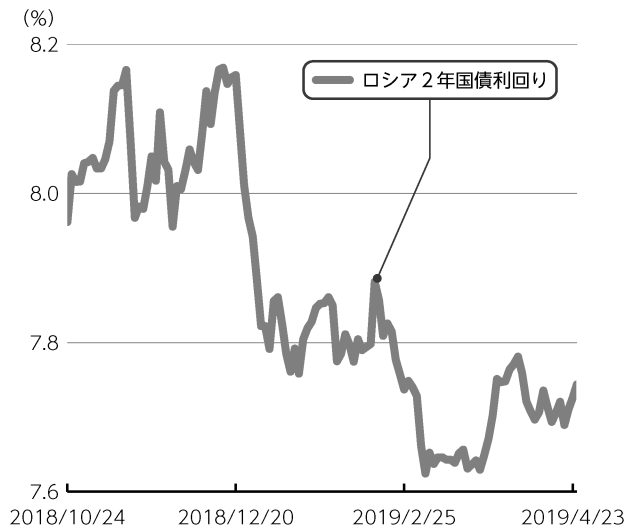
※ファンド年間騰落率は、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

第65期～第70期：2018年10月26日～2019年4月25日

投資環境について

金利の推移

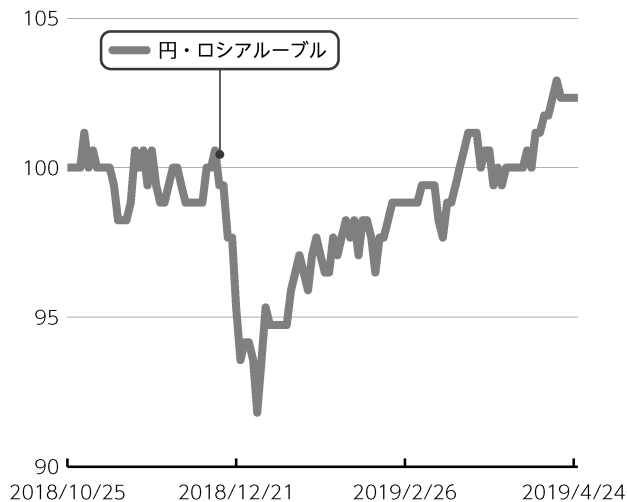


(注) 現地日付ベースで記載しております。

債券市況

ロシアの債券市場では、短期ゾーンの金利は低下しました。

2018年12月にロシア中央銀行が利上げを行ったことなどから、12月中旬にかけては短期ゾーンの金利は上昇基調で推移しました。その後、世界経済の減速懸念が高まったことに加え、2019年3月にロシア中央銀行が、インフレ圧力が抑制的であることを背景に2019年内に緩和サイクルに戻る可能性を示唆したことなどから、短期ゾーンの金利は低下基調で推移しました。

為替市況の推移（当作成期首を100として指数化、対円）**▶ 為替市況**

ロシアルーブルは対円で上昇しました。ロシアルーブルは、2018年12月中旬までは対円で概ね横ばいで推移しましたが、2019年1月上旬にかけて、世界経済の減速懸念等を背景に投資家のリスク回避的な姿勢が高まったことなどから、対円で下落しました。その後、株式市場の上昇などを背景にリスクセンチメントが改善したことなどから、ロシアルーブルは対円で上昇基調で推移した結果、当作成期を通じてみると、ロシアルーブルは対円で上昇しました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 短期ロシアルーブル債オープン（毎月分配型）

短期ロシアルーブル債マザーファンド受益証券への投資を通じてロシアルーブル建ての短期公社債に実質的な投資をしました。

▶ 短期ロシアルーブル債マザーファンド

基準価額は当作成期首に比べ6.6%の上昇となりました。

ロシアルーブル建ての短期公社債に投資を行い、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざして運用を行い、作成期を通じて債券現物の組入比率は高位を維持しました。

種別構成については、作成期を通じて残存期間3年以内の国債および国際機関債を組み入れました。

債券の利子収益を享受したことやロシアルーブルが対円で上昇したことなどから、基準価額は上昇しました。

（ご参考）

■ 利回り・デュレーション（平均回収期間や金利感応度）

| 作成期首（2018年10月25日） | | 作成期末（2019年4月25日） | |
|-------------------|------|------------------|------|
| 最終利回り | 7.5% | 最終利回り | 7.4% |
| 直接利回り | 7.0% | 直接利回り | 7.3% |
| デュレーション | 1.6年 | デュレーション | 1.6年 |
| 平均残存年数 | 1.9年 | 平均残存年数 | 1.9年 |

- ・ 数値は債券現物部分で計算しております。
- ・ 最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・ 直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- ・ 利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・ デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ・ デュレーション調整のため、債券先物を組み入れることがあります。この場合、デュレーションについては債券先物を含めて計算しています。
- ・ 平均残存年数は、各債券の残存年数を債券の額面で加重平均したものです。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

| 項目 | 第65期 2018年10月26日～ 2018年11月26日 | 第66期 2018年11月27日～ 2018年12月25日 | 第67期 2018年12月26日～ 2019年1月25日 | 第68期 2019年1月26日～ 2019年2月25日 | 第69期 2019年2月26日～ 2019年3月25日 | 第70期 2019年3月26日～ 2019年4月25日 |
|--------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 当期分配金 （対基準価額比率） | 30 (0.527%) | 30 (0.559%) | 30 (0.535%) | 30 (0.528%) | 30 (0.522%) | 30 (0.510%) |
| 当期の収益 | 28 | 23 | 30 | 30 | 30 | 30 |
| 当期の収益以外 | 1 | 6 | － | － | － | － |
| 翌期繰越分配対象額 | 2,520 | 2,514 | 2,516 | 2,519 | 2,519 | 2,524 |

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ 短期ロシアルーブル債オープン（毎月分配型）

今後の運用方針

短期ロシアルーブル債マザーファンド受益証券の組入比率を高位とする方針です。

▶ 短期ロシアルーブル債マザーファンド

運用環境の見通し

ロシアでは、外部環境の不透明感はあるものの、潜在成長率程度の成長が継続することが見込まれます。

金融政策に関しては、自国通貨高と需要の弱さによりインフレ圧力が弱まっており、中央銀行は見通し通りに状況が展開すれば政策金利の引き下げを行う可能性を示唆しており、当面インフレ動向を注視することが予想されます。

主要先進国では、日本や欧州などの中央銀行により現行の緩和的な金融政策が継続する一方、米国では当面政策金利が据え置かれることが見込まれます。このような環境下、新興国に対する投資家のリスクセンチメントが改善する局面では、先進諸国との比較で相対的に金利水準の高いロシアなどへの金利差を狙った資金流入が今後も見込めると考えます。

今後の運用方針

（組入比率）

安定した利子収益の確保をめざし、高位組み入れを継続する方針です。

（種別構成）

当面は残存期間3年以内の国債および国際機関債での運用を行う方針です。

お知らせ

▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

▶ その他

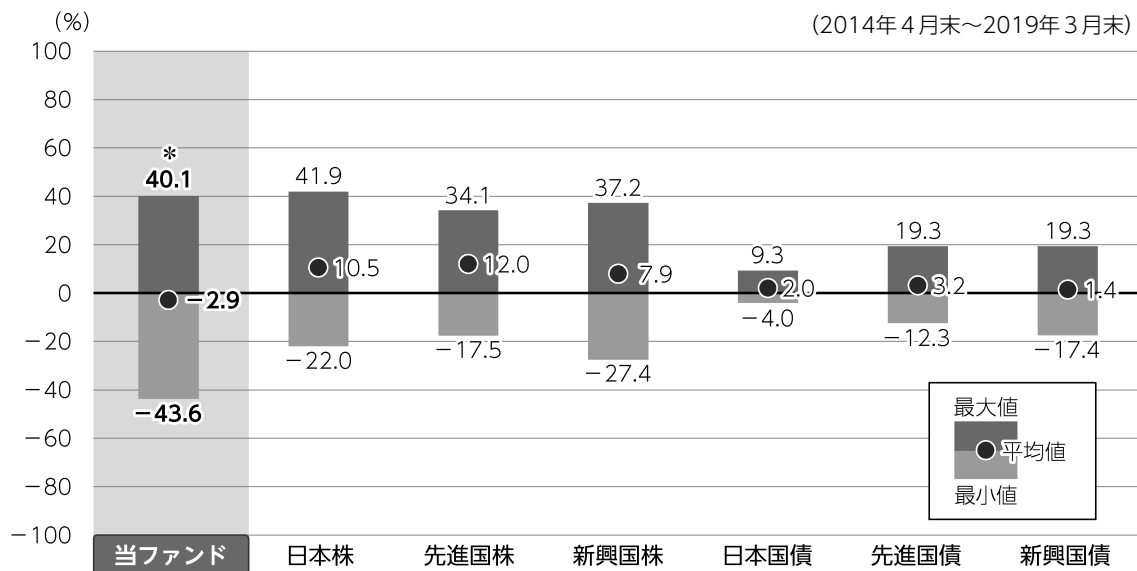
- ・2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

| | |
|--------|--|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／債券 |
| 信託期間 | 2023年10月25日まで（2013年7月11日設定） |
| 運用方針 | 短期ロシアルーブル債マザーファンド受益証券への投資を通じて、ロシアルーブル建ての短期公社債を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 |
| 主要投資対象 | <p>■当ファンド 短期ロシアルーブル債マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。</p> <p>■短期ロシアルーブル債マザーファンド ロシアルーブル建ての短期公社債を主要投資対象とします。</p> |
| 運用方法 | ロシアルーブル建ての短期公社債を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。 |
| 分配方針 | 経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第2計算期末までの間は、収益の分配は行いません。 |

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2014年4月から2019年3月の5年間に於ける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

*ファンドについては2014年7月～2019年3月の同様の騰落率を表示したものです。

各資産クラスの指数

| | |
|------|--------------------------------|
| 日本株 | TOPIX（配当込み） |
| 先進国株 | MSCI コクサイ・インデックス（配当込み） |
| 新興国株 | MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み） |
| 日本国債 | NOMURA-BPI（国債） |
| 先進国債 | FTSE世界国債インデックス（除く日本） |
| 新興国債 | JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド |

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

2019年4月25日現在

▶ 当該投資信託の組入資産の内容

組入ファンド

(組入銘柄数：1銘柄)

| ファンド名 | 第70期末 2019年4月25日 |
|-------------------|---------------------|
| 短期ロシアルーブル債マザーファンド | 99.8% |

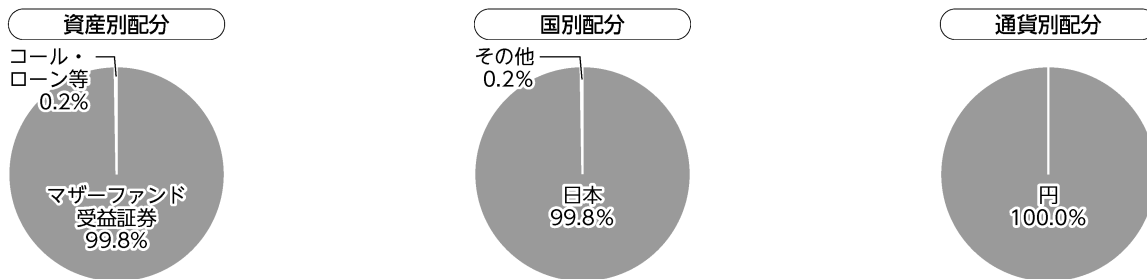
※比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

純資産等

| 項目 | | 第65期末 2018年11月26日 | 第66期末 2018年12月25日 | 第67期末 2019年1月25日 | 第68期末 2019年2月25日 | 第69期末 2019年3月25日 | 第70期末 2019年4月25日 |
|------------|-----|----------------------|----------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 純資産総額 | (円) | 1,067,387,671 | 996,334,344 | 1,040,520,148 | 1,057,142,111 | 1,052,916,197 | 1,093,043,861 |
| 受益権口数 | (口) | 1,883,312,144 | 1,867,666,241 | 1,866,499,378 | 1,871,836,286 | 1,840,913,861 | 1,869,500,102 |
| 1万口当たり基準価額 | (円) | 5,668 | 5,335 | 5,575 | 5,648 | 5,720 | 5,847 |

※当作成期間中（第65期～第70期）において追加設定元本は281,278,256円
同解約元本は 327,282,549円です。

種別構成等



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含みます。

※【国別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行国、発行通貨を表示しています。

290789

2019年4月25日現在

組入上位ファンドの概要

短期ロシアルーブル債マザーファンド

基準価額の推移

2018年10月25日～2019年4月25日



1万口当たりの費用明細

2018年10月26日～2019年4月25日

| 項目 | 当期 | |
|----------|-------|---------|
| | 金額(円) | 比率(%) |
| (a)その他費用 | 1 | 0.010 |
| （保管費用） | (1) | (0.010) |
| （その他） | (0) | (0.000) |
| 合計 | 1 | 0.010 |

期中の平均基準価額は、8,834円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

組入上位10銘柄

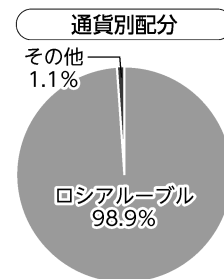
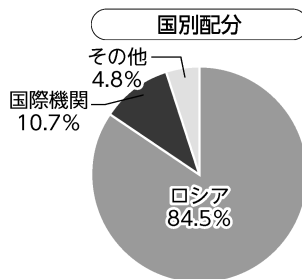
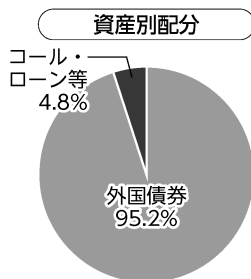
(組入銘柄数：5銘柄)

| | 銘柄 | 種類 | 国 | 業種/種別 | 比率(%) |
|----|------------------------|----|------|-------|-------|
| 1 | 7.6 RUSSIA GOVT 210414 | 債券 | ロシア | 国債 | 24.1 |
| 2 | 7 RUSSIA OFZ 211215 | 債券 | ロシア | 国債 | 23.7 |
| 3 | 7.5 RUSSIA OFZ 210818 | 債券 | ロシア | 国債 | 20.8 |
| 4 | 6.4 RUSSIA OFZ 200527 | 債券 | ロシア | 国債 | 15.9 |
| 5 | 11 INTL FI (GL) 200121 | 債券 | 国際機関 | 特殊債 | 10.7 |
| 6 | | | | | |
| 7 | | | | | |
| 8 | | | | | |
| 9 | | | | | |
| 10 | | | | | |

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

種別構成等



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含みます。

指数に関して

▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

● T O P I X（配当込み）

T O P I X（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数（T O P I X）に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。T O P I X（配当込み）に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、T O P I X（配当込み）の算出もしくは公表の方法の変更、T O P I X（配当込み）の算出もしくは公表の停止またはT O P I X（配当込み）の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

● M S C I コクサイ・インデックス（配当込み）

M S C I コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、M S C I コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

● M S C I エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

M S C I エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、M S C I エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

● N O M U R A - B P I（国債）

N O M U R A - B P I（国債）とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、N O M U R A - B P I（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

● F T S E世界国債インデックス（除く日本）

F T S E世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

● J P モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド

J P モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当該指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。







三菱UFJ国際投信